

—総括表—

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性

担当エリアである希望が丘地区・希望が丘南地区の高齢化率は30%は超えていませんが、生活上の相談件数は増加しています。担い手の高齢化も進み新たな人材が必要です。
今後の取組みとして、認知症でも安心して暮らせるまちを目指し、本人、家族だけではなく、地域住民の方たちやこれからを担う子供たちにも働きかけをし理解、啓発に努めます。子どもや保護者・地域住民同士の交流を様々な形で持てるように支援していきます。近隣施設・学校・企業等や、地域・行政などの機関と繋がりながら、お子さまから高齢者の方々、幅広い年齢層の方々に活用いただける施設づくりを推進していきます。
また、社会問題である8050問題、介護者の高齢化等、地域の高齢化に伴う課題にも目を向け、適切な機関や活動へのご紹介等、保険医療の向上と福祉の増進に取り組んでいきます。

新規
継続

—具体的な取組内容—

■	☐	地域住民が自身にマッチした地域活動団体を探すことができるAyamu(ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビ)は知らない住民が多く、操作も高齢者などにはわかりづらいものになっている。それには地域の方への周知、検索事例などを用いた理解しやすいチラシを作成し関係機関に配置する。
■	☐	地域ケアプラザが地域の様々な総合相談窓口であることをケアプラザ新聞等を通して周知しているが、特に子育てに関する困りごとや相談が少ない。引き続き周知を行うとともに、子育てに関する相談については自主事業の参加者にアンケートをとり、悩み事や相談する人が身近にいるか、また相談したいと思っているかなどのニーズを探っていく。
■	☐	8050問題に直面した課題が急増している。地域とつながりが無い一人暮らし男性のケースが増えてきていることを踏まえ、現在の地域住民同士の繋がりを把握していく必要がある。課題解決に向け、区役所、基幹相談、民生委員、近隣住民、地域で働く人(新聞社等)などと連携し、住民同士の繋がりがどのくらいあるのかを地域住民同士が現状把握するため、「住民ささえあいマップ」などを活用し、身近な範囲である自治会や、それよりも小さい単位で共有できるよう働きかける。
☐	■	認知症について当事者が抱えている課題や困りごとについて、直接思いを聞くことができていない現状がある。本人の思いを聞いていくことが、チームオレンジ事業を推進していく上でも必要となる。昨年度に引き続き、今年度も「認知症になっても安心して暮らせるまち」を目指し地域住民や地域にある企業や事業所などとワンチームとなり、ネットワークの構築に努める。当事者や家族と一緒に話し合える場(チームオレンジ検討会)や、子供達や地域住民に向けての働きかけを地域の学校との連携やRUN伴への参加を通し、啓発活動に取組み、地域全体の認知症に対する意識の向上を図る。
☐	☐	

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り

子育て分野では、子育て世代にアンケートをとった結果、多くの方が子育ての悩みを持っており、保健師などの専門職に相談したいということがわかった。担当地区の保健師と協力し、相談会を1月に開催予定。合わせてケアプラザの機能として区役所とつなげる役割があることも周知していく。高齢者分野では、相談が多くある集合住宅を対象に地域の現状(地域とつながりが無い一人暮らしの方が増えている)を伝え、住民同士の繋がりがどのくらいあるのかを把握するため、住民ささえあいマップを活用した地域ケア会議を実施。長年地域の生活支援を担っている方が、棟内のことをよく把握されていることが分かり、住民同士の繋がりを把握することができた。今後はその把握をどのように継続していくのか、繋がっていない人はどうしていくのか、次の段階への課題が見えてきた会議となった。また、認知症当事者の思いを聞く機会として、グループホームや小規模多機能事業所と連携し、地域住民との交流会を開催。また、家族の思いを聞く機会として、「家族に教わる認知症のこと」を開催し、地域住民が認知症について我が事と思えるよう努めた。チームオレンジ検討会の開催、RUN伴、小・中学校でも認知症理解講座など、認知症に関して理解を深める働きかけを1年を通し行った。

☐ 区からのコメント

高齢・障害・子どもの分野がバランスよく取り組まれていると感じます。
引き続き安定的な施設運営を行うため、職員を人的資本と捉え、所長のリーダーシップのもと、相談体制の整備や人材育成の取組を進め、職員一人ひとりが働きやすい職場環境の更なる改善に努めてください。

令和7年度 横浜市南希望が丘地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンス等への対応について (事故報告、個人情報保護、備品管理簿)
取組計画	貸館については横浜市のルールに従い公平な施設利用をおこないます。平等な割り振り、空き情報の提示する等、利用される方が分かりやすい配慮をおこないます。 介護保険事業者を選ぶ際には、相談者、介護事業所に対しても公正中立を保ち、本人や家族がサービスの選定や意思決定が出来るように情報の提供をおこない支援方法を一緒に検討を致します。	事故防止マニュアルに基づいた対応をおこないます。緊急時の連絡場所や連絡先を明確にし、責任者が不在であっても迅速に対応できるようにします。 個人情報保護研修、ケアプラザ用のチェックシートを実施しながら業務の見直しをおこない事故防止に努めます。他施設での事故も職員間で共有し未然防止に取組みます。 備品管理については、備品管理簿の確認をし、必要な手続きをおこない正しい情報の更新をおこないます。
実績	貸館については横浜市のルールに従い公平な施設運営をおこないました。団体の皆さまやボランティアの皆さまとも顔の見える関係を作り、対応に取組みました。介護事業所選定については、本人の希望や必要性を加味して、多数の事業所からご紹介し見学の推奨、調整をおこない本人にお選びいただけるよう支援に取り組みました。	ケアプラザ用チェックシートを活用しての個人情報取り扱い業務の自己チェックや、事故事案をもとにマニュアル手順を再確認し見直す等の作業を行いました。緊急時や事故の際の対応についても可視化することで迅速に報連相が出来るようにしています。備品については、台帳を整備し正常化するよう管理に取り組みました。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	要支援1.2、事業対象者と認定された地域の高齢者に対し、介護予防ケアプランを作成し、作成にあたっては、サービス利用後の生活がイメージできるような明確な目標設定を行い、行動意欲を高め、本人の主体性を尊重します。また、委託契約を結んでいる居宅介護支援事業所との連携及び支援を行います。	要支援・要介護認定を受けた方を対象に居宅介護支援事業を提供します。地域包括支援センター併設の事業所として、地域との関わりを深め、ケアマネジメントを通じた地域貢献を目指します。運営規定に則り、適正な事業運営を行います。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額 【その他料金】 原則として利用者の負担はありません。事業所の担当地域を超える地域に訪問・出張する必要がある場合には、その交通費(実費)を請求します。	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額 【その他料金】利用者の選択により通常の事業実施地域以外で居宅を訪問して指定居宅介護支援を行う場合には、それに要した公共交通機関利用料金の支払いが必要。
職員体制	管理者 主任ケアマネジャー 1名(常勤兼務) 保健師等 1名(常勤兼務) 社会福祉士 1名(常勤兼務)	管理者・主任介護支援専門員 1名(常勤兼務)、介護支援専門員 3名(常勤専従2名・常勤兼務1名)
契約者数	280名	143名

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標			

実施 体制	【実施日数】	【実施日数】	【実施日数】
	【提供時間】	【提供時間】	【提供時間】
	【定員】	【定員】	【定員】
利用 料金	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額
	【その他料金】	【その他料金】	【その他料金】
職員 体制			
契約 者数 等	【延べ利用者数】	【延べ利用者数】	【延べ利用者数】
	【契約者数】	【契約者数】	【契約者数】

令和7年度「横浜市南希望が丘地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	21,805,099	4,042,496	25,847,595	25,316,381	531,214	横浜市より
内 受領額	21,805,099	4,042,496	25,847,595	25,847,595	0	
内 戻入額				△ 531,214	531,214	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	188,250	△ 188,250	
雑入	0	0	0	50,340	△ 50,340	
内 印刷代			0		0	
内 自動販売機手数料			0	10,560	△ 10,560	
内 その他			0	39,780	△ 39,780	コピー代他
その他			0		0	
収入合計	21,805,099	4,042,496	25,847,595	25,554,971	292,624	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,674,236	416,496	13,090,732	11,156,784	1,933,948	法人本部経費を含まない
内 本俸	11,184,236	416,496	11,600,732	9,650,077	1,950,655	
内 社会保険料	1,300,000		1,300,000	1,187,050	112,950	
内 手当計	100,000		100,000	243,852	△ 143,852	
内 健康診断費	40,000		40,000	24,640	15,360	
内 勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
内 退職給付引当金繰入額	50,000		50,000	51,165	△ 1,165	
内 その他	0		0	0	0	
事務費	2,766,000	271,000	3,037,000	1,904,440	1,132,560	本部経費を含む
内 旅費	40,000		40,000	21,284	18,716	
内 消耗品費	554,440		554,440	284,209	270,231	
内 会議諸い費	0		0	0	0	
内 印刷製本費	30,000		30,000	9,900	20,100	
内 通信費	700,000		700,000	582,207	117,793	
内 使用料及び賃借料	360,560	0	360,560	333,120	27,440	
内 内 自販機目的外使用料（横浜市への支出）	10,560		10,560	10,560	0	
内 内 その他	350,000		350,000	322,560	27,440	
内 備品購入費	200,000		200,000	97,020	102,980	
内 図書購入費	0		0	0	0	
内 施設賠償責任保険	0		0	0	0	
内 職員等研修費	50,000		50,000	4,966	45,034	
内 振込手数料	10,000		10,000	882	9,118	
内 リース料	10,000		10,000	32,340	△ 22,340	
内 手数料	10,000		10,000	2,285	7,715	
内 地域協力費	0		0	0	0	
内 公租公課	1,000	0	1,000	520	480	本部経費を含まない
内 事業所税	0		0	0	0	
内 消費税	0		0	0	0	
内 印紙税	0		0	0	0	
内 その他	1,000		1,000	520	480	
内 その他	800,000	271,000	1,071,000	535,707	535,293	
事業費	986,000	0	986,000	408,721	577,279	本部経費を含まない
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	986,000		986,000	408,721	577,279	
内 その他			0	0	0	
管理費	4,904,863	0	4,904,863	3,282,294	1,622,569	本部経費を含まない
内 光熱水費	3,000,000		3,000,000	2,309,309	690,691	
内 清掃費	300,000		300,000	175,825	124,175	
内 機械警備費	60,000		60,000	55,066	4,934	
内 設備保全費	1,000,000	0	1,000,000	423,494	576,506	
内 空調衛生設備保守	150,000		150,000	85,399	64,601	
内 消防設備保守	100,000		100,000	21,389	78,611	
内 電気設備保守	300,000		300,000	83,221	216,779	
内 害虫駆除清掃保守	100,000		100,000	29,555	70,445	
内 駐車場設備保全費	150,000		150,000	70,932	79,068	
内 その他保全費	200,000		200,000	132,998	67,002	
内 共益費	0		0	0	0	
内 その他	544,863		544,863	318,600	226,263	
修繕費	474,000		474,000	428,786	45,214	予算：指定額
太陽光パネル保守点検	0		0	0	0	
太陽光パネル修繕（追加）			0	0	0	
その他	0	3,355,000	3,355,000	3,355,000	0	LED化改修
内			0		0	
支出合計	21,805,099	4,042,496	25,847,595	20,536,025	5,311,570	
差引	0	0	0	5,018,946	△ 5,018,946	

自主事業費 収入	0	0	0	188,250	△ 188,250	
自主事業費 支出	986,000	0	986,000	408,721	577,279	
自主事業 収支	△ 986,000	0	△ 986,000	△ 220,471	△ 765,529	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	10,560	△ 10,560	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	10,560	0	10,560	10,560	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 10,560	0	△ 10,560	0	△ 10,560	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

**令和7年度「横浜市南希望が丘地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援・チームオレンジ＞**

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	26,733,857	1,082,888	27,816,745	27,384,723	432,022	横浜市より
内 受領額	26,733,857	1,082,888	27,816,745	27,816,745	0	
内 戻入額				△ 432,022	432,022	
指定管理料【介護予防】	154,000	0	154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	200,000	0	200,000	200,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	6,180,326	154,616	6,334,942	6,334,942	0	横浜市より
内 受領額	6,180,326	154,616	6,334,942	6,334,942	0	
内 戻入額				0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	36,600	△ 36,600	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0	6,200	△ 6,200	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】			0	0	0	
雑入	0	0	0	10,560	△ 10,560	
内 印刷代			0	0	0	
内 自動販売機手数料			0	10,560	△ 10,560	
その他			0	0	0	
その他	1,156,000		1,156,000		1,156,000	利用料金収支の活用
収入合計	34,424,183	1,237,504	35,661,687	34,127,025	1,534,662	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	30,249,183	1,092,504	31,341,687	27,743,975	3,597,712	法人本部経費を含まない
内 本俸	25,609,183	1,092,504	26,701,687	22,939,051	3,762,636	
内 社会保険料	3,500,000		3,500,000	3,712,667	△ 212,667	
内 手当計	600,000		600,000	660,317	△ 60,317	
内 健康診断費	40,000		40,000	24,640	15,360	
内 勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
内 退職給付引当金繰入額	500,000		500,000	407,300	92,700	
その他	0		0	0	0	
事務費	1,426,000	145,000	1,571,000	883,579	687,421	法人本部経費を含む
内 旅費	30,000		30,000	8,860	21,140	
内 消耗品費	260,440		260,440	57,586	202,854	
内 会議随費	0		0	0	0	
内 印刷製本費	40,000		40,000	9,900	30,100	
内 通信費	100,000		100,000	72,629	27,371	
内 使用料及び賃借料	310,560	0	310,560	292,800	17,760	
内 自販機目的外使用料（横浜市への支出）	10,560		10,560	10,560	0	
その他	300,000		300,000	282,240	17,760	
内 備品購入費	200,000		200,000	0	200,000	
内 図書購入費	0		0	0	0	
内 施設賠償責任保険	0		0	0	0	
内 職員等研修費	50,000		50,000	21,190	28,810	
内 振込手数料	10,000		10,000	4,423	5,577	
内 リース料	110,000		110,000	103,140	6,860	
内 手数料	10,000		10,000	4,096	5,904	
内 地域協力費	0		0	0	0	
内 公租公課	5,000	0	5,000	520	4,480	
内 事業所税			0		0	
内 消費税			0		0	
内 印紙税	4,000		4,000		4,000	
その他	1,000		1,000	520	480	
その他	300,000	145,000	445,000	308,435	136,565	
事業費	1,408,000	0	1,408,000	684,855	723,145	法人本部経費を含まない
内 協力医	630,000		630,000	210,000	420,000	
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	109,000		109,000	100,811	8,189	
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	152,688	1,312	
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	315,000		315,000	64,400	250,600	
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	200,000		200,000	156,956	43,044	
その他	0		0		0	
管理費	1,215,000	0	1,215,000	872,499	342,501	法人本部経費を含まない
内 光熱水費	725,000		725,000	613,866	111,134	
内 清掃費	80,000		80,000	46,737	33,263	
内 機械整備費	20,000		20,000	14,637	5,363	
内 設備保全費	240,000	0	240,000	112,569	127,431	
内 空調衛生設備保守	40,000		40,000	22,700	17,300	
内 消防設備保守	10,000		10,000	5,685	4,315	
内 電気設備保守	80,000		80,000	22,121	57,879	
内 害虫駆除清掃保守	20,000		20,000	7,856	12,144	
内 駐車場設備保全費	40,000		40,000	18,855	21,145	
その他保全費	50,000		50,000	35,352	14,648	
内 共益費	0		0	0	0	
その他	150,000		150,000	84,690	65,310	
修繕費	126,000		126,000	113,978	12,022	法人本部経費を含まない
その他	0	0	0	0	0	法人本部経費を含まない
内			0		0	
支出合計	34,424,183	1,237,504	35,661,687	30,298,886	5,362,801	
差引	0	0	0	3,828,139	△ 3,828,139	

自主事業費 収入	30,000	0	30,000	42,800	△ 12,800	
自主事業費 支出	778,000	0	778,000	474,855	303,145	
自主事業 収支	△ 748,000	0	△ 748,000	△ 432,055	△ 315,945	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	10,560	△ 10,560	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	10,560	0	10,560	10,560	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 10,560	0	△ 10,560	0	△ 10,560	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和7年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書＜介護保険事業分＞

施設名:横浜市南希望が丘地域ケアプラザ

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入				3,000	3,510	-510	22,001	24,739	-2,738			0			0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	53	-53	0	0	0	0	0	0
	事業・負担金収入			0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0		53	-53			0			0
	収入合計(A)	0	0	0	3,000	3,510	-510	22,001	24,792	-2,791	0	0	0	0	0	0
支出	人件費			0			0	16,803	16,640	163			0			0
	事務費			0	122	22	100	1,210	710	500			0			0
	事業費			0			0	61	46	15			0			0
	管理費			0			0			0			0			0
	その他			0	0	1,156	-1,156	0	261	-261	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料			0			0			0			0			0
	固定資産取得			0			0	0	261	-261			0			0
	利用料収支の活用			0	0	1,156	-1,156			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
	支出合計(B)	0	0	0	122	1,178	-1,056	18,074	17,657	417	0	0	0	0	0	0
収支 (A)－(B)		0	0	0	2,878	2,332	546	3,927	7,135	-3,208	0	0	0	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和7年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業	■ 事業の性質	■ 主な対象者、従たる対象者
1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン 実施回数	延べ参加人数	うちオンライン 参加人数
1	親子のフリースペース	平成30年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て支援の一環として、地域の子育て中のママたちの交流と、遊び場の提供を目的とします。	3:養育者及び乳幼児		親子のフリースペースとして多目的室を開放。年12回 毎月第3水曜日9時30分～11時	12	0	108	0
2	子育てサロン mam-mam	平成26年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	0歳児から未就学児の親子を対象に親子の交流の場と、ママ同士の交流、ヨガをすることでママのリフレッシュを図ることを目的とします。	3:養育者及び乳幼児		前半はフリースペースとして、後半はママのヨガ教室を開催。年10回 毎月第2金曜日9時30分～11時	10	0	94	0
3	えほんとわらべうたのひろば	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	絵本の読み聞かせやわらべうたを通し、親子の心と体の交流を育むとともに、ママ同士や地域のボランティアとの交流の場を提供し、育児中の孤立感の軽減を目的とします。	3:養育者及び乳幼児		前半はボランティアによるわらべうたと絵本の読み聞かせ、後半はフリースペースとして場所を提供し、ボランティアとの交流や参加者同士の交流の場として開催。年12回 毎月第4水曜日10時～11時開催。	12	0	262	0
4	ゆったり体操教室	平成25年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	立てて運動することが難しくなってきた方を対象に、座位での介護予防を目的とした体操教室を開催します。	1:高齢者		イスに座って、セラバンドやゴムボールを使用した体操を行う。年22回(1月、2月は1回) 毎月第2・4水曜日 9時30分～11時00分	22	0	188	0
5	うたってわくわく	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域住民(主に中高年)を対象に歌を歌うことで健康増進、また横の繋がりが持てる交流の場の提供を目的とします。	5:地域		季節に合わせた歌や昔懐かしい歌を口ずさんだり、音楽と脳トレを掛け合わせたプログラムを行う。年6回10時00分～11時30分	8	0	346	0
6	ふらっとサロン	平成21年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域住民の交流の場の提供と、ボランティア活動の場を提供する目的で開催します。	4:子ども・青少年		ゆったりとお茶を飲みながら地域住民同士の交流のできる場を提供。年11回第2日曜日 13時～15時	11	0	64	0
7	みんなでポッチャ！	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域住民同士の交流の場の提供を目的とします。障がいをお持ちの方でも気軽に参加していただき、地域との繋がりをもちきっかけづくりを目的とします。	5:地域		ポッチャで体を動かし、地域住民同士の交流を図る。年11回 13時30分～14時30分	11	0	136	0
8	登録団体説明会	平成25年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザを利用されている団体向けに、部屋貸し利用についてや、緊急時の避難経路について理解を図ることを目的とします。	5:地域		貸館の申込みや利用方法、緊急時避難経路、福祉保健活動について説明会を開催。6月開催	1	0	28	0
9	ケアブラ祭り	平成23年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	日頃の感謝の気持ちを込めて開催します。ケアプラザを利用していない地域の方にも、ケアプラザに足を運んでいただき、ケアプラザを知っていただくことを目的とします。	5:地域		子ども向けのコーナー、ステージコーナー、障害事業所の販売コーナーの実施、またボランティア活動の場の提供を行う。3月実施	1	0	529	0
10	みんなで大掃除会	平成21年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	登録団体の区分Ⅱの団体を対象に、福祉保健活動の活動の場を提供することを目的とします。	5:地域		日頃使用している部屋の清掃をし交流を図る場として実施。1月2回実施	2	0	27	0
11	ボランティアの集い	平成21年度	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	ケアプラザ事業等で活動をしているボランティアを対象に、日頃の活動の感謝を伝えと共に、ボランティア同士の交流を目的とします。	5:地域		様々な事業等で活動されているボランティア同士の交流の場として実施。3月実施	1	0	10	0
12	よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	平成23年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	65歳以上の方を対象に、ボランティア活動や地域活動の参加のきっかけづくりと、すでに活動をしている方で65歳を超えた方へのシニアボランティアポイントの周知を目的とし、登録研修会を開催します。	1:高齢者		よこはまシニアボランティアポイントの登録研修会を実施。ケアプラザ自主事業等でボランティア活動をしている方、また始めるようとしている方、また広く地域一般の方を対象にケアプラザ新聞を通じて周知を行いました。 1月実施	1	0	10	0
13	スマートボールを作ろう！ ソーマキューブを作ろう！	令和6年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	夏休みの特別企画として小学生対象に開催。	4:子ども・青少年		障がい事業所の旭カンパニーさんにご協力いただき、木工工作としてスマートボール、ソーマキューブを作成。8月2回実施	2	0	14	0
14	こども薬剤師体験	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の小学生を対象として薬に対する正しい知識を持つことと、将来の仕事の一つとして「薬剤師」という仕事があることを知る機会とします。また保護者の方にもケアプラザを知って頂くきっかけとします。	4:子ども・青少年		旭区薬剤師会との共催により、薬剤師と大学院生より多様な実験を含んだ講義を実施。10月開催。	1	0	19	0
15	乳幼児救命救急教室	令和6年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	乳幼児の子育て世代を対象に、いざというときの対処方法を知り、日常に活かしてもらうことを目的として開催します。	3:養育者及び乳幼児		さが丘消防出張所にご協力いただき、心肺蘇生やAEDの使い方、誤飲・発熱・けいれん時などの対処方法を学ぶ機会として実施。2月実施	1	0	19	0
16	デコって私のジュートバッグ	令和7年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	夏休みの特別企画として小学生対象に開催。地域のボランティア活動の場の支援を目的とする。	4:子ども・青少年		ジュートバッグに飾りを自由につけてオリジナルバッグを作りを実施。7月実施	1	0	8	0
17	カラーリング体験会	令和7年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域住民同士の交流と健康づくりの場の提供を目的とします。	5:地域		カラーリングで体を動かし、地域住民同士の交流の場として実施。9月実施	1	0	11	0

■ 事業			■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組み	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（１と２）	5：共催（１と３）			4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（２と３）	7：共催（１と２と３）				7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン 実施回数	延べ参加人数	うちオンライン 参加人数
18	つながろうプロジェクト 南希望が丘ケアプラザエリア	平成29年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	障害のある方が地域で安心して生活できるまちづくりに向け、地域住民と障がいのある方との相互理解を深めることを目的としています。	6:事業者	5	地域の代表者・エリアにある障害事業所の代表者・社協の会長・民児協の会長が集まり、お互いの抱える問題や課題について情報の共有を行いました。 6月実施	1	0	6	0
19	きぼうファーム	平成28年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	希望が丘地区・希望が丘南地区支えあい連絡会、第3期地域福祉保健計画の取組の一環として実施します。『きぼうファーム』を通じて、障害児者やご家族と交流を図り、顔の見える関係づくりや相互理解を深めることを目的とします。	2:障害児・者	5	障害児者余暇支援事業として、野菜の収穫祭、わくわくスポーツ会などを実施。6月、11月、2月実施	3	0	94	0
20	こどもの居場所かけはし	令和3年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	不登校の小学生・中学生を対象に、学校にも家庭にも居場所がないと感じる子どもたちが、安心して過ごせる場の提供を目的としています。	4:子ども・青少年	5	一般社団法人かけはしとの共催。地域のボランティアと共に、不登校の子供たちの居場所としてケアプラザの場を提供。ボランティアと関わることで、子ども達の自己肯定感を感じられる経験を積み重ねていきます。年21回実施 第1、第3、第5火曜日(長期休みを除く)9時30分～11時30分	21	0	280	0
21	旭ふれあい区民まつり 行政・PRコーナー出展	平成24年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域ケアプラザについてブース来場者に知っていただくための機会とする。	5:地域		・パネル展示 ・地区別計画及びケアプラザ広報紙の配布 ・ミニゲーム企画 ・啓発グッズ配布 10月実施	1	0	700	0
22	介護保険制度の基礎知識と活用講座	令和4年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	介護保険制度の仕組みや、介護保険サービスの種類と内容、利用するための手続きなど介護保険の基本をお伝えする講座です。	5:地域	1	南希望が丘地域ケアプラザ、地域包括支援センターの小谷が講義を担当し、介護保険の仕組みをハートページを用いながら詳しく説明しました。希望が丘地区在住の方へ向け、希望が丘地区センターで開催しました。 9月実施	1	0	23	0
23	ミ・ディ	平成21年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	音楽を楽しんだり、工作による手作業、脳トレや体を軽く動かすミニ運動会などの介護予防の要素を盛り込んだ事業に月1回程度参加することで、高齢者の閉じこもりを防止し、仲間づくりの機会にすることを目的とします。	1:高齢者		季節にちなんだテーマに沿って、音楽活動や工作活動、体操およびレクリエーション活動、外出レクを行い、閉じこもり防止と外出の機会・他者交流の機会の提供・介護予防に取り組みました。毎月第2又は第3月曜日(8月除く)年11回実施。	11	0	124	0
24	介護者の集い	平成21年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域の介護者を対象に、施設協力医のアドバイスも頂きながら、参加される方同士の情報交換や交流、介護に役立つ情報の提供、介護の悩みや疲れを共有できる場づくりを目的とします。	5:地域		介護者同士の交流や情報交換を行い、介護者の精神的負担の軽減、介護者の心の支えとなる場づくりを行いました。 毎月第2水曜日(8月除く)年11回実施。	11	0	92	0
25	シニアサポーターひまわり	平成25年度	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	介護予防事業のボランティアとして活動できるスキルを学ぶことで、自分たちの生きがいや地域の担い手になっていく気持ちや育つように、地域包括支援センターと生活支援コーディネーターが協働して支援を行います。	1:高齢者	5	元気づくりステーション「南希の森」継続支援に向けて、活動内容や自分たちに出来る介護予防普及啓発活動を身に付けていけるよう継続支援していきます。また、介護予防教室開催に向けて、ボランティア活動ができるスキルが身に付くよう支援していきます。 勉強会:年3回程度 活動:月4回程度	2	0	16	0
26	免疫力アップ教室	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	年を重ねることでおきるフレイルを予防するため、運動の機会を持つと共に栄養や口腔機能の維持改善の重要性を学ぶとともに、地域の方との交流の場としていきます。	1:高齢者	5	外出時自粛に伴いフレイル傾向に陥っている方々が元気に過ごしていただけるように、フレイル総論に関する啓発を行うとともに、ゆるく体を動かす運動から、運動習慣が身に付く教室を開催します。運動、栄養、口腔機能向上について学んで頂くとともに交流の場とします。5月～1月(8月を除く)全8回 第3木曜日10時～	8	0	181	0
27	ウォーキングで筋活	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	坂道が多いという地域のため、下肢筋力が低下すると外出することが難しくなります。いつまでもご自身の足で歩き生活が楽しめるよう、歩くことで下肢筋力のアップに繋がる歩き方を学んでいただきます。	1:高齢者	5	姿勢を整えるところから学び、歩くことで下肢筋力だけでなく全身の筋力アップを行い、健康寿命を延ばす運動の機会とします。毎日の歩行が筋トレの機会に変えるよう歩行について学ぶ教室です。全4回(6月、7月、10月、11月 第1月曜日 10時～)	4	0	66	0
28	元気づくりステーション「南希の森」	平成25年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域のインフォーマルとして根付いていくよう、地域ケアプラザと区が協力体制を持って支援を行っています。また、参加者に対して、より一層自分達での運営の意識を高めていけるよう支援しています。	1:高齢者	5	元気づくりステーション「南希の森」が円滑に活動できるよう、レクリエーションの支援やイベントの補佐、情報提供等の活動支援を引き続き行います。毎週火曜日10時～11時	19	0	316	0
29	元気づくりステーション「ヒルズのわ」	平成27年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域のインフォーマルとして根付いていくよう、地域ケアプラザと区が協力体制を持って支援を行っています。また、参加者に対して、より一層自分達での運営の意識を高めていけるよう支援しています。	1:高齢者	5	元気づくりステーション「ヒルズのわ」が円滑に活動できるよう、レクリエーションの支援やイベントの補佐、情報提供等の活動支援を引き続き行います。毎週金曜日10時～11時	14	0	256	0
30	元気づくりステーション「ホープの友」	平成28年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域のインフォーマルとして根付いていくよう、地域ケアプラザと区が協力体制を持って支援を行っています。また、参加者に対して、より一層自分達での運営の意識を高めていけるよう支援しています。	1:高齢者	5	元気づくりステーション「ホープの友」が円滑に活動できるよう、レクリエーションの支援やイベントの補佐、情報提供等の活動支援を引き続き行います。毎週金曜日14時～15時半	16	0	291	0
31	元気づくりステーション「中原の和」	平成30年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域のインフォーマルとして根付いていくよう、地域ケアプラザと区が協力体制を持って支援を行っています。また、参加者に対して、より一層自分達での運営の意識を高めていけるよう支援しています。	1:高齢者	5	元気づくりステーション「中原の和」が円滑に活動できるよう、レクリエーションの支援やイベントの補佐、情報提供等の活動支援を引き続き行います。第1・3月曜日14時～15時	14	0	142	0

■ 事業	■ 事業の性質	■ 主な対象者、従たる対象者
1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン 実施回数	延べ参加人数	うちオンライン 参加人数
32	公園deラジオ体操	令和4年度	6：共催(2と3)	2：発展させるねらい	希望が地区第4期地域福祉保健計画の目的B「身近なところから生まれつながり」を目標としています。希望が丘町内会の中心的な場所である公園で誰もが気軽に立ち寄り集まれるコミュニティの場となるよう働きかけ、地域住民の自主的な取り組みとなるよう支援します。	5：地域	1 4 5	地域の3つの介護事業所と共催し、ラジオ体操第1と第2を希望が丘ふれあいの森公園で週1回開催しました。 (ケアプラザ担当)毎週木曜日 10時～	10	0	103	0
33	横浜市チームオレンジ事業「南希望が丘地域ケアプラザチームオレンジ」	令和4年度	7：共催(1と2と3)	1：優先的に取り組み	認知症になっても安心して暮らせるまちを目指し、ケアプラザ5職種がコーディネーター機能をいかし、地域とともにチームオレンジを作ります。今年度は子供や働き世代への啓発、当事者の気持ちを知ることとをテーマに事業を展開していきます。	5：地域		①中学校、小学校での認知症理解講座、②グループホーム入居者と交流会、③RUN件への参加、④チームオレンジ検討会、⑤認知症についての講演会、⑥家族にきく認知症のこと等、新たな企画とこれまでの企画を継続しながら事業を展開しました。①6月、11月②10月に4回③11月④12月、3月⑤3月⑥12月	13	0	495	0
34	司法書士無料相談	令和元年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	地域住民に対し、成年後見制度の手続きや遺言作成、相続問題等について法律の専門職の支援を身近に受けることができる機会を提供すると共に、ケアプラザと権利擁護機関との連携を強化することを目的とします。	5：地域		司法書士の先生による無料の個別相談を実施しました。 奇数月第2水曜日 年6回実施	6	0	6	0
35	行政書士無料相談会	令和7年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	地域住民が、行政書士の相談を身近なケアプラザで受けられるようにし、司法書士の無料相談とあわせて、切れ目ない個別の相談の機会を増やします。	5：地域		行政書士の先生による無料の個別相談会を、実施しました。 偶数月第4木曜日 年6回実施	4	0	2	0
36	旭区版エンディングノート活用講座	平成29年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	旭区版エンディングノートの書き方を学ぶことで、これまでの生活を振り返り、地域住民がこれからの生活を安心して豊かに過ごせるための様々な知識を得る事を目的とします。	5：地域	1	旭区版エンディングノートの紹介に合わせて、成年後見制度・葬儀・相続・不動産等についても触れ、エンディングノートを書く意味を理解してもらうよう、実施しました。講師に司法書士、行政書士、不動産会社の方をお呼びし、身近な相談機関としての周知も行いました。ケアプラザと地区センター2か所で開催。 10月(3回コース)、3月(2回コース)	5	0	42	0
37	消費者被害防止講座	令和元年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	地域住民が、頻発している振り込み詐欺等の悪質商法被害の実態を理解し、被害にあわないための知識、解決のポイントを学び、被害防止ができることを目的とします。	1：高齢者	5	両地区の老人クラブと共催し、地域の皆さんにより声が届くよう、地域と連携して講座を開催します。防犯演劇や旭警察生活安全課等に講師を依頼し、消費者被害防止について講義を行います。 年2回実施(地区センター、ケアプラザ)	2	0	119	0
38	希望が丘南区ジュニアボランティア養成講座	平成27年度	4：共催(1と2)	1：優先的に取り組み	希望が丘南区のジュニアボランティアを対象に、ケアプラザの役割や高齢者・認知症、障害などについての理解を深めてもらい、ボランティア活動につなげることを目的とします。	4：子ども・青少年		福祉に対しての理解を深めるため、高齢者や認知症、障害等についての講義の実施や福祉体験(コミュニケーションング)を実施しました。 年1回実施 8月	1	0	10	0
39	希望ヶ丘地区ちよっとした困りごとを考える会	令和6年度	6：共催(2と3)	1：優先的に取り組み	高齢化が進む中、相談件数が増大しています。地域の困りごとを解決するにはフォーマルな介護サービスだけでは難しくなっています。危機感を感じている希望が丘地区の皆さんとともに地域住民主体の生活支援サービスを地区の資源として創設していきます。	5：地域	1	老人会の方を中心に、思いのある自治会長や地域住民とともにまずは話し合いの場を作り、現状の課題を把握して、どのようなサービスを作り出していくか検討しました。 年1回実施	1	0	6	0
40	出張講座承ります！	令和6年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	ケアプラザまで来ることが大変な方も多くいらっしゃる中、地域の老人会や団体の活動場所に向かい、知っておいてもらいたい内容をテーマにして、地域の皆さんへの情報提供を目的とします。	5：地域	1	終活、エンディングノート、悪徳商法、認知症、介護保険、フレイル予防など、様々な内容をテーマに聞きたい内容を決めてもらい、包括職員による出張講座を行いました。老人会や活動団体からの申込制としました。 年9回実施	9	0	141	0
41	希望が丘南区ボランティアネットの会	令和3年度	7：共催(1と2と3)	2：発展させるねらい	地域には子育て、障害児・者、高齢者などさまざまな分野での困りごとをサポートするボランティア団体がいっぱいある。地域共生社会を目指すため、分野をこえた課題共有の場やお互いの情報共有の場となる協議の場を設けます。	5：地域	6	希望が丘南区社協と共催し、希望が丘南区の子育て、障害、高齢分野での活動団体と一緒に地域ケアプラザで活動するボランティア団体などにも出席してもらい連絡会を開催します。地域の活動団体間の情報共有や課題共有の場をつくり、ネットワークの構築を目指しました。6月、10月、3月実施	3	0	31	0
42	うたごえ「音楽る」	令和2年度	6：共催(2と3)	1：優先的に取り組み	ミュージックボランティア音楽るを中心に、コロナ禍で外出が難しい地域住民と、ITが苦手でケアプラザへ来るのが困難でない地域住民の両方を対象に、多様な形(ハイブリッド)で社会参加できるよう、世代や地域を超えた交流の場の提供を行います。	5：地域		オンラインとリアル(会場)両方の場での参加の仕方を、参加者が選択できる「うたごえ音楽る」を開催しました。ボランティア自身の社会参加、参加者との交流の場となり、同じ場を共有し、つながりを感じられる場となりました。 毎月第4月曜日(8月除く)	11	11	401	32
43	ミュージックボランティア音楽る	平成29年度	6：共催(2と3)	2：発展させるねらい	高齢者の集う場所やサロン、また子供たちの集う場所などで「音楽で地域を元気に」を目的とし創設したミュージックボランティア。地域の担い手として、また社会参加のきっかけづくりとして、引き続き活躍の場の提供、活動の支援を行います。地域とボランティアの連携も図ります。	5：地域		決定した活動の支援、活動を充実させるためのミーティングや勉強会を開催しました。 ●ミーティング 毎月第2又は第3月曜日 ●活動 月2～4回程度	33	1	657	10
44	みんなの集いの場	平成30年度	6：共催(2と3)	2：発展させるねらい	エリアを限定しない教会(付属の幼児園)の集会室を利用し、誰もが気軽に参加できる目的でたちあげた「みんなの集いの場」。昨年10月より活動場所を公園から元の活動の場であるめぐみ幼児園に戻り、新たな居場所として地域にひろまっていくよう、支援していきます。	1：高齢者	3、4、5	ステップ1・2希望の風とこーヒーボランティアが中心となり、身近な場所が集まり、気軽に運動できる集いの場の運営、活動を支援しました。めぐみ幼児園 毎月第2・第4火曜日 13:45～15:30	22	0	357	0

■ 事業	■ 事業の性質	■ 主な対象者、従たる対象者
1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他

No	事業名	開始 年度	事業	事業の 性質	事業目的	主な 対象者	従たる 対象者 (複数選択 可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施 回数	うち オンライン 実施回数	延べ 参加 人数	うち オンライン 参加人数
45	認知症＆予防カフェ みなとの茶店 きっさブルメリア 支援	平成29年度	6：共催（2と3）	2：発展させるねらい	「きぼうタウンプロジェクト」の取組として立ち上がった2か所の認知症＆予防カフェにおいて認知症への理解・啓発を連携して行うことを目的とします。	1：高齢者	5	みなとの茶店 毎月第3水曜日 14:30～15:30 きっさブルメリア 毎月第3日曜日 14:00～15:15	22	0	445	0
46	生活支援・介護予防補助事業サービスB 希望カフェ 支援	平成30年度	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	生活支援・介護予防補助事業サービスB（通所支援）の取組に手を挙げた希望が丘商店会中にあるコミュニティカフェ「希望カフェ」の活動支援を行い、旭区役所、旭区社協と連携しながら事業を円滑に進められるよう、また、地域に根差した活動となれるよう、支援を行います。	6：事業者	5	6年目の活動に入り、利用者も確実に増えています。地域とのネットワークの構築や活動に向けての支援を継続して行います。 定例会・勉強会 年5回実施	11	0	40	0
47	希望が丘南地区買い物支援プロジェクト	平成30年度	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	買い物する場所が遠く、買い物に困難なエリアの方達が少しでも外出でき、目で見えて買い物できる機会を増やす事ができ、また地域のコミュニティの場となるような活動を地域住民とともに目指します。	5：地域		ダイエー、青果他店、中央卸売市場、障害事業所のパン屋など様々な主体と連携して移動販売、出張販売の支援を行いました。ダイエーの撤退に伴い、改めてニーズを確認し、必要な場所にはとく丸の移動販売に繋げました。	33	0	197	0
48	チームよろず場	令和4年度	7：共催（1と2と3）	2：発展させるねらい	希望が丘南地区支えあい連絡会から立ち上がった目標Aを推進する組織。今年度は今後の「チームよろず場」としての方向性を検討していく。	5：地域		希望が丘南地区居場所マップの配布状況や地域の方の反応を見ながら、今後の活用と方向性の検討を実施しました。4月、7月、10月実施	3	0	41	0
49	町の防災組織連絡会	令和4年度	7：共催（1と2と3）	2：発展させるねらい	希望が丘南地区支えあい連絡会から立ち上がった目標Dを推進する組織。「大きな災害にあっても、隣近所の顔の見える助け合いの体制づくり」を目指す。今年度は町の防災組織、防災拠点、連合と連携し、災害時に少しでも被災者がでないような組織作りを図っていく。	5：地域		7月に「町の防災組織連絡会研修会」を実施。「災害時にみんなが生き残れるために」をテーマに、町の防災組織の説明、自治会防災部の活動紹介を通じて、災害時に少しでも被災者がでないような連携の取組みを図りました。年9回実施	9	0	142	0
50	ステンシルバックを作ろう！	令和7年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	気軽に参加できるワークショップを通じて、障がいに関する施設や活動を地域の方に知ってもらい、障がい理解につなげることを目的として開催。	5：地域		サポートセンター連にご協力いただき、布バッグに好きな模様ステンシルを行いオリジナルバッグを作成。講師はサポートセンター連の利用者。後援：きぼうファーム 10月実施	1	0	5	0
51	キッズマネー教室	令和7年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	誰でも参加しやすい「キッズマネー教室」を行うことで、表面化しにくい生活困窮者の気づきのきっかけづくりを目的として開催。	4：子ども・青少年		旭区役所生活支援課との共催で行う。一般社団法人NTSセーフティ家計総合研究所の有田氏を講師に招き、小学生対象として、クイズやゲームを使って「上手なお金の使い方」などを学びました。12月実施	1	0	14	0
52	音楽懐館	令和7年度	5：共催（1と3）	1：優先的に取り組み	地域の交流の活性化を目的とし開催する。	5：地域		懐かしい音楽をレコードやカセットテープなどで聞きながら、地域の方々が気軽に話をしながら交流できる場をつくる。11月、1月、3月に実施しました。	3	0	43	0
53	南希ケアプラ作品展	令和7年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	南希望が丘地域ケアプラザの登録団体や地域の方、デイサービスの利用者の作品を展示し、日頃の成果を地域の方々に見ていただくことを目的とし開催する。	5：地域		書道の登録団体、南希望が丘中学校華道部、障害事業所夏の空、南希望が丘デイサービスの作品を展示。南希望が丘中学校のみなさんに寄せ書きの台紙を作成していただきました。9月27、28日実施	2	0	78	0